

令和7年度社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金(個別支援事業分)事業一覧

No.	実施主体	事業名	事業の概要
1	尼崎市	コミュニティファームにおける居場所づくり	地域の子どもから高齢者まで多様な世代が参画するコミュニティファームの運営団体と協働し、就職氷河期世代を含む中高年層をはじめとする幅広い世代の方を対象とした就農体験や地域交流イベント等を実施するとともに、支援機関へつなぐ等の寄り添い支援を行うことにより、社会的に孤立しがちな人々が地域社会で活躍する場所・機会を創出した。 ・地域交流事業及び就農体験の延べ参加人数(人) R7目標:220人 R7実績:275人 ・多様な手段(SNS、チラシなど)を組み合わせ、積極的な広報を行った結果、事業の認知度が大幅に向上した。 ・説明会・見学会を順次開催し、庁内外のの関係部署(200名以上)や関係機関に事業を周知。説明会等の実施により、参加希望者の増加につながった。 ・地域交流事業及び就農体験の参加者のうち、意欲や自己肯定感が向上した人の割合(%) R7目標:80% R7実績:98% ・参加者が他者や地域とのつながりを実感できる機会を設けたことで、安心して過ごせる居場所づくりが進み、意欲の向上につながった。 ・地域交流事業(地域交流イベント・居場所)及び就農体験により、参加者の状況に応じた多様なプログラムを提供したことで、参加者が自分の役割や達成感を得やすくなり、自己肯定感や意欲の向上に寄与した。
2	明石市	自立就職支援事業	就職氷河期世代を含む中高年層をはじめとする幅広い世代の未就職者の就職を実現させるため、能力向上を目的としたセミナー(5回)・相談会(1回)を実施した。 ・セミナー・相談会への参加後に就職決定した人数 R7目標:8人 R7実績:13人 採用意欲の高い企業との連携を強化し、受講者に適した企業を案内することで、就職が決定した人数の増加につながった。 ・セミナー・相談会への参加後に社会参加が決定した人数(通いの場、就労準備訓練等への参加に繋がった人数) R7目標:2人 R7実績:1人 就職に至るケースが多かったため、社会参加(通いの場など)への移行は相対的に少なくなった。 ・セミナー・相談会等への参加人数 R7目標:30人 R7実績:43人 受講者を就職氷河期世代を含む中高年層をはじめとする幅広い世代に設定したことで、若年層の参加者が増加した。
3	宝塚市	若者・ミドル世代キャリア形成支援事業	就職に向けて何らかの事情により、自ら就職活動を行うことが困難な若者や就職氷河期世代をはじめとする中高年層を含む幅広い世代の方を対象とした、連続的な就職支援セミナーおよび個別面談を実施した。 R7目標:①本事業参加者のうち事業終了時点で就労している者の割合 8人②地域活動への参加者数 10人 R7実績:①8人②12人 セミナーを14回実施したことに加え、計4回の個別面談を行ったことで、各支援対象者の能力や就業意欲が向上し、就労人数に係る目標値を達成することができた。 また、地域の企業や団体と緊密に連携を図ることで、多様な地域活動を提供できたことに加え、各支援対象者に対して積極的な参加を促すことができたため、地域活動に係る目標値を達成できた。

令和7年度社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金(個別支援事業分)事業一覧

No.	実施主体	事業名	事業の概要
4	川西市	社会参加・就労支援事業	キャリアカウンセリング(月4回・各3枠を毎月実施)については、市公式SNS(特に市公式LINE)や広報紙による定期的な情報発信、合同就職面接会へのブース出展による対面での案内、さらに若者キャリアサポート川西や庁内関係部署(生活支援課、地域福祉課等)との連携体制の強化に取り組んだ。その結果、支援対象者にとってキャリアカウンセリングが相談窓口の選択肢の一つとして認知されるようになり、目標値を上回る成果が得られた。 また、労働相談(月2回・各3枠を毎月実施)については、不安定な就労状態にある方が安心して就労できるよう、社会保険労務士が相談に応じることで、不安や悩みの解消を図るとともに、必要に応じて適切な支援機関につなぐことができた。 ・相談件数 R7目標:108件 R7実績:141件 セミナーについては、男女共同参画センター及びハローワークマザーズコーナーとの共催により実施し、育児・介護等のライフステージに応じた働き方を希望する方を対象として、自分らしさを再認識し、その実現に向けて一歩を踏み出すきっかけを提供することができた。 また、就労体験については、就職に至らなかった体験者に対しても、短時間勤務や単発アルバイトへの応募・採用、家庭教師等への登録といった具体的な就労につながる機会を提供し、「働くこと」への第一歩を踏み出す支援を行った。 ・セミナー参加者数・就労体験参加者数 R7目標:120人 R7実績:118人 上記の事業を通じて、一人ひとりに寄り添った支援を実施した結果、子育て中の方から中高年層を含む幅広い世代の方まで、非正規雇用を含む再就職につながるケースが多く見られた。 ・就職者数 R7目標:15人 R7実績:20人
5	宍粟市	社会参加支援型無料職業紹介業務	「宍粟市総合的な仕事の相談窓口」では無料職業紹介所として、対象を限定せず、幅広い求職者と求人企業のマッチングを行った。また、市内に未だ多い就職氷河期世代を中心に、その周辺世代を対象とした優先相談ブースを設置し、重点的に支援を実施した。福祉面では、新たに居場所づくり事業や社会参加推進専門員を配置することで、就労を希望しない方に対する社会参加支援を実施した。また、事業実施にあたり、市内外の求人開拓や関係機関との連携を図ることで、充実したネットワークの構築を行った。具体的な各業務の実績については以下のとおり。 ・無料職業紹介業務(2,988人) ・就職相談及び企業相談(1,539人) ・市内の求人開拓(681社) ・就職支援セミナー等の開催(13回) ・在宅ワーク情報の収集・発信(5回) ・新卒者向けセミナー(1回) ・就労準備・就労支援業務及び介護人材確保・定着対策業務との連携
		社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進事業	商工部局で実施する無料職業紹介業務と連携し、福祉部局においては、新たに社会参加推進専門員を配置し、就労を希望しないなど、多様な課題の解決を目指した相談等を行い、孤独・孤立状態の解消及び社会参加への支援を行った。 また、望まない孤独・孤立状態にある者等に対しては、安心・安全に過ごすことができるよう居場所を提供し、利用者の課題解決のため相談支援を行った。 新たな取組として利用者の同意が得られないケースもあり、相談への繋ぎに課題があった。 ①居場所づくり事業(委託) ・利用者数(延べ) 618人 ・相談(来所・電話等) 38件 ・その他(訪問等延べ) 202件 ②社会参加推進専門員の配置 ・企業訪問等(延べ) 60件 ・関係機関訪問(延べ) 69件 ・民生委員・児童委員などに対する啓発説明活動の実施。

令和7年度社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金(個別支援事業分)事業一覧

No.	実施主体	事業名	事業の概要
6	猪名川町	就職氷河期世代等就労サポート事業	就職氷河期世代の方を対象とした毎月1回の個別相談窓口の設置するとともに、年間6回の就労支援セミナーを開催し、就職に向けた準備から職場定着・ステップアップまでの継続的な支援を行った。 ・支援事業につなげた人数 R7目標:30人 R7実績:20人 ホームページやSNS等での広報に加え、関係機関への周知協力依頼等、積極的な広報活動により広く事業を周知することができた。各々の異なる就労セミナーに参加する方もいたため、目標値を下回ったが、これは本人が必要と感じる支援メニューをうまく活用できている傾向の顕れでもある。 ・就業者数(勤務形態問わず) R7目標:5人 R7実績:4人 スキルアップを目的としたセミナーの開催により、求職者のモチベーション向上に繋げることで就業者増を目指したが、精神的な不調や年齢・家庭・経済的不安等、様々な状況にある方が多く、就労までの時間が一定期間必要となり、年度をまたいだ支援が必要なケースも多く、このような結果となった。 ・就業者のうち正規雇用及び常勤職員数 R7目標:2人 R7実績:1人 スキルアップを目的としたセミナーに参加されたことで自信に繋がり、正規雇用に繋がった。自身のライフステージにおける働き方や体調面への不安などから、まずは非正規雇用からの就職を希望する方が多い傾向にもある。
7	播磨町	就職等自立支援セミナー	若者サポートステーション事業の充実・強化のため、播磨町独自の事業として、就職等自立支援セミナー及び個別相談(出張相談)という複数の取組を実施することで、個々人の状況に寄り添ったきめ細やかな支援を行った。 ・参加者数 R7目標8人 R7実績5人 広報、基幹相談支援センターが出席する会議にてちらし配布、サポステで関わっている人への紹介など、例年同様の周知を行ったが、少なかった理由は不明である。 ・就職等につながつた率 R7目標 60% R7実績 60% 就労としてはパート1名であったが、福祉機関に2名(就労移行支援・B型継続支援)に繋がっており、計画も就職等の中に福祉機関を計上しているため3名がつながつたこととなり、例年と同率である。精神面で不安定な方は、外出が困難となり、就職等が難しいため、割合の向上が課題となっている。
8	香美町	香美町ひきこもり者等就労支援事業	就職氷河期世代に存在する就職できずにひきこもりになった方や障害が理由で就労の場が与えられなかった方に対し、就労体験を通じた社会参加を促進するため、就労準備支援金を支給した。 また、事業者の理解促進やひきこもり者等の職場定着支援を目的として、就労体験の場の提供及び就労を受け入れた事業者に対して助成金を支給した。 ・社会参加者数(本事業により就労体験を実施した者、就労に至った者の人数) R7目標:15人 R7実績:10人 ・就業者数(本事業により、正規雇用、非正規雇用、自営・起業・内職等に至った人数) R7目標:8人 R7実績:4人 当事者の労働意欲の低さ及び求職ニーズと登録事業者の求人ニーズの乖離、事業主側の障害者等に業務を任せるとの不安感や理解不足で受け入れに消極的であったため目標達成に至らなかった。

令和7年度社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金(個別支援事業分)事業一覧

No.	実施主体	事業名	事業の概要
9	新温泉町	新温泉町ひきこもり相談支援事業	ひきこもりの方本人及びその家族等からの相談に応じて必要な情報提供および助言を行うとともに、関係機関と連携し、ひきこもりの方の地域における自立と社会参加を促進するため、就労等に関わる支援も含めて相談及び居場所事業を行った。 ・相談者数(延べ人数) R7目標:240人、R7実績:185人 ・居場所利用者数(延べ人数) R7目標:550人、R7実績:708人 定期的に居場所利用しながら相談する者が多かったが、相談のみで利用する者は少なく、新規相談者の数はごく一部であった。 一方で、固定の居場所利用者が増加しており、曜日ごとに固定した利用方法となっていること、送迎サービスを行っていることにより利用継続しやすい環境が整っているため居場所利用者の増加につながった。
10	兵庫県	ひきこもりの居場所及び居場所へのつなぎ資源確保事業	市町を対象としたひきこもり支援勉強会を実施することで市町の居場所設置を推進し、県内に多様な居場所を確保する観点からインターネット環境を活用したオンライン居場所を設置した。また、令和6年度に引き続き、民間のひきこもり支援団体等に対する支援を充実させ、運営力向上やネットワーク構築を促す研修会を複数回実施した。 ・社会参加者数(オンライン居場所への延べ参加者数) R7目標:720人 R7実績:1,168人 毎年度、企画提案コンペにより事業実施者を決定しており、各事業者共に実施内容や広報手法等に創意工夫を行った結果、広く事業を周知することが出来た。また、令和6年度に引き続き、女性専用の居場所やオフ会など特色のある居場所を新設したことも参加者の増加に繋がったと考えている。 ・ひきこもり支援団体等ネットワーク加入団体数 R7目標:60団体 R7実績:42団体 普段から関連のある事業者を経由した紹介や、ひきこもりポータルサイトの充実(各種研修資料や支援団体の視察結果の公開等)を通じて、民間の支援団体への加入団体を促進させた。一方で、市町については、ひきこもり支援体制が整いつつあるも、県からの事業周知・説明、加入メリットの訴求が不十分であり、加入団体数が伸び悩んだ。
11	兵庫県	こころの健康電話相談事業	相談窓口を設置し、就職氷河期世代やひきこもりなど社会参加が難しい方について、年間を通じて相談を受けた。相談事例については、必要に応じて関係団体との個別ケースの連絡調整会議を開催しているほか、事例によって県民の身近な窓口である市町にフィードバックを行った。 ・電話相談の件数 R7目標:480件 R7実績:488件 ・個別ケースの連絡調整会議の開催回数 R7目標:15回 R7実績:9回 ・連絡調整の結果、地域支援者の支援につながった者の数 R7目標:10人 R7実績:5人

令和 7 年度社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金実施状況に対する意見等

[令和 8 年 9 月 11 日 兵庫県中高年世代活躍応援プロジェクト協議会]

意見等	事務局回答
意見なし。	